

鉄道ピクトリアル

2016年12月号増刊 Vol.66 No.12 通巻No.926

＜特集＞ 東京地下鉄

■表 紙 新時代の銀座線車両1000系 燃田 健

中野検車区 2016-10-20

キヤノン EOS6D TS-E24mm F3.5L II 絞り f13 タイム1/125 ISO100

■グラフ

下から見たTOKYO (1~7・164~167ページ)

- 河原慶明・矢内孝太・足立勝男・雙木貴之ほか
第2の職場で働く元東京メトロ車 (163ページ) 金子 聰ほか
70's想い出の営団地下鉄 (168~169ページ) 太田正行・小林 武
坂戸直輝コレクション 半世紀前の地下鉄路線図 (170ページ)
..... 所蔵と解説: 坂戸直和

*

東京地下鉄道から90年 誌上資料展

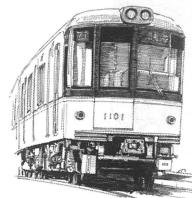
- 資料所蔵・解説: 中川和子 140
営団成立前の地下鉄電車 写真: 宮松金次郎・白井茂信ほか 145
高度成長期の輸送を担った過去の車両たち 構成: 編集部 148
技術革新の時代を拓いた名車 千代田線6000系の記録 構成: 編集部 150
副都心線建設の足跡—最新路線の工事を振り返る 写真と解説: 東京地下鉄 156
銀座線浅草一上野間の路上出入口 大沼 一英 162

■本文

- 今月の話題: 東京地下鉄 編集部 9
総説: 東京メトロ 関田 崇 10
対談: 東京地下鉄の鉄道事業を語る 山村明義・今城光英 18
営業設備とサービス 杉浦嘉延・尾上豊弘・畠山珠美 26
駅、乗務のあらまし 梅川勇太・橋本 修 31
輸送と運転 近年の動向 米元 和重 35
車両総説 岩本 厚 51
車両工場の概要 蓮見 誠 60
検車区の概要 河野 洋志 66
線路と保線 大澤純一郎 76
電力・防災・列車無線設備の概要 清水芳樹・前田 亮 80
指令業務のあゆみとシステム 総合指令所の24時間 小川 努 85
信号保安設備、運行管理システムの概要 麻生 浩・武田清彦・本多秀行 92
輸送改善を目指した改良工事の現状 中村 守男 99
銀座線リニューアル計画について 辰島拓也・佐藤浩樹・村里 誠 105
東京メトロのネットワークの充実と効果 佐藤 信之 111
東京地下鉄道株初代技師長遠武勇熊の足跡 野焼 計史 118
日本最初の地下鉄 東京地下鉄道開業の逸話 中川 和子 122
証言で綴る元東京地下鉄道職員の回想 中川 和子 128
東京地下鉄における海外展開 三森 昌貴 138
地下駅の歴史と設計思想 ~構造の変遷と考え方を探る~ 平野 隆 171
営団地下鉄300形開発史 澤内 一晃 180
チョッパ制御車の保守を経験して 留岡 正男 186
千代田線6000系を記憶するための記録 岸上 明彦 190
東京地下鉄路上出入口のバラエティ 大沼 一英 206
東京メトロ車両一音と色 中山 嘉彦 214
東京地下鉄発行の特急券 長谷川優一 220
東京地下鉄現有車両プロフィール2016 岸上 明彦 221
[現有車両編成表・車歴表・主要諸元表] 東京地下鉄 290
後部車から 315

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット: 松本一雄

今月の話題

東京地下鉄

東京地下鉄(愛称: 東京メトロ)は東京都心部を中心に地下鉄9路線195.1kmを展開する大手民鉄であり、2004(平成16)年4月1日、旧帝都高速度交通営団の民営化に伴い、営団地下鉄の事業を継承して設立された。法人の形態としては「東京地下鉄株式会社法」に基づいた特殊会社で、株主は国と東京都である。路線の歴史は営団地下鉄の前身である東京地下鉄道が東洋初の地下鉄として1927(昭和2)年に上野一浅草間で開業したのが始まりで、戦後丸ノ内線を皮切りに、わが国の高度経済成長期を背景に相次いで行われた新線建設により、東京都心部を繋ぐ緻密なネットワークが形成され、今日に至っている。近年は郊外から都心回帰に人口構成が転化する傾向に加えて、訪日外国人の増加もあり、輸送需要は旺盛であり、各路線において輸送人員は増加を続けている。

首都圏の鉄道ネットワークの中核を担う近年の東京メトロをめぐる話題は多彩である。2013年の副都心線と東急東横線・横浜高速みなとみらい線との相互直通運転開始は、優れた輸送の利便性実現が注目を集めた。東京メトロが今年発表した中期経営計画における設備投資の規模はきわめて大きく、東西線をはじめとして輸送改善に伴うさまざまな大規模改良工事、来年(2017年)開業90周年を迎える銀座線におけるトータルなリニューアルプロジェクト、新技術と斬新なデザインを採用した新形車も導入が続々進むなど、輸送・営業のサービスアップに関わる施策は目白押しで、積極的な事業強化に取り組んでいる。東京メトロは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおいても交通インフラとしての重要性は大きく、その価値観を高めつつ、東京を支える鉄道として、さらなる躍進が期待されている。

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan